

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60%	自校A B層の割合	60%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・1人1台端末の活用について校内研修で理解を深め授業で活用できるようにする。 ・授業中生徒同士の意見を発表し合い、共有する場面をつくる。 ・教員同士でお互いの授業を見合い、改善点を検討する。	・小テストを各单元ごとに実施する。 ・数学少人数授業の実施。 ・ミライシードを用いた学習活動を推進する。	・定期考査に向けた学習として、江戸川っ子study week！を実施する。 ・週末や長期休業時に課題を出し、回収および点検を行う。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	・校内委員会で生徒の情報共有と支援方法を検討し、授業に活用する。 ・定期的に教科部会を行い、指導方法について検討する。	・放課後補習教室と教員による補習での学習。 ・ミライシードを用いて、理解度に合ったドリルパークの反復学習を行う。	・保護者と連携して学習ノートやミライシードの毎日の学習状況を確認する。
成果指標	・学校評価の生徒アンケートで、授業の分かりやすさの項目が、全教員で75%以上であること。	・全国学力・学習状況調査「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という項目で肯定的な回答が80%以上であること。	・全国学力・学習状況調査の項目「授業時間以外の勉強時間」を「1時間以上」と回答する割合が80%以上であること。